

いわみざわの民話

第21回

きつねの丸太物語①

当時の岩見沢の丘陵地は大きな原始林でおおわれていました。その原始林の中で鹿や兎やきつねなどのけもの、鷲、はやぶさ、とびなどの大きな鳥から、山げら、ひわ、うぐいすのような小鳥までが数多く楽しく暮らしていたのです。その原始林も次第に開拓されてきました。今まで、けものや鳥のすみ家になっていた森が畑になり、大きな原始木が切り倒されてゆきました。あるきつねのすみ家であった原始木が切り倒されたので、そのきつねのすみ家がなくなりました。倒した原始木は今の教育大学前の明治池寄りの小高い道路わきに置かれ、いつか道行く村人の一休みする場所になっていました。その木をすみ家にしていたきつねは、時々森から出てその木に休むこと

がありました。きつねはその時、その木に腰をかけている村人をうらみしました。

ある時、医師が馬に乗って通りかかりこの木に腰をかけて休みました。もうすっかり日が暮れていました。

この小高い所からは今の西5丁目の道路がついていけませんので、町には神社の方へ向って野球場の低地まで下り、ポントネツを渡ってもう一度坂を登り神社の前に出てから市内に入るのです。

一休みした医師は一服すると馬に乗って帰ってゆきました。きつねはその時一寸いたずらをしました。馬は今来た道の方へ走り、坂を下り、また明治池を通りすぎ、登った所から左にまわり、今の東山ホテルの近くを右にまわって又もとの場所に出て来ました。「きつねはまちがったのだらう。」と医師はびっくりしました。いそいで馬

いわみざわの民話は、平成9年に「いわみざわの民話」刊行委員会が発行しました。



をひきかえすと又走ってゆきました。その時馬はもとの道を走ってゆきました。そしてぐるぐると森を1周して、又明治池の坂を登り最初の場所に戻ってきました。

《続く》

第22回は「きつねの丸太物語②」を紹介します。

発行・編集 岩見沢市総務部秘書課

ひとの動き 平成23年10月31日現在

●住民基本台帳 人口 総数 89,550人(前月比 - 35)
男 42,004人(前月比 - 13)
女 47,546人(前月比 - 22)
世帯数 42,468世帯(前月比 + 20)

岩見沢市役所

☎068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
☎0126-23-4111 ㊚0126-23-9977
ホームページ <http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp>
▶救急当番医ガイド ☎0126-23-5153
▶消防テレホンガイド ☎0126-24-0119